

代表質問・一般質問の要旨 (令和7年3月定例会)

【代表質問】

	議員名	所属会派	質問形式	登壇予定日
1	上羽 和幸	公明党議員団	一問一答	3月6日 (木)
2	川口 孝文	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
3	田畑 篤子	新政クラブ議員団	一問一答	
4	小杉 悦子	日本共産党議員団	一問一答	
5	仲井 玲子	超党・市民ファースト議員団	2 分割	

【一般質問】

	議員名	所属会派	質問形式	登壇予定日
1	今西 克己	新政クラブ議員団	一問一答	3月7日 (金)
2	谷川 眞司	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
3	伊田 悦子	日本共産党議員団	一問一答	
4	廣瀬 昇	超党・市民ファースト議員団	一問一答	
5	松田 弘幸	公明党議員団	一問一答	
6	眞下 弘明	新政クラブ議員団	一問一答	
7	上野 修身	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
8	小西 洋一	日本共産党議員団	3 分割	
9	福本 明日香	超党・市民ファースト議員団	一問一答	
10	杉島 久敏	公明党議員団	一括	3月10日 (月)
11	野瀬 貴則	新政クラブ議員団	一問一答	
12	水嶋 一明	自民党鶴政クラブ議員団	一括	
13	高橋 秀策	超党・市民ファースト議員団	一括	
14	小谷 繁雄	公明党議員団	一括	
15	眞下 隆史	新政クラブ議員団	一問一答	
16	南 正弘	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	
17	山本 治兵衛	新政クラブ議員団	一問一答	
18	尾関 善之	自民党鶴政クラブ議員団	一問一答	

【代表質問】

1 上羽 和幸 議員（公明党議員団） [一問一答]

1 こどもまんなか社会の実現について

こどもまんなか社会に向け「こども基本法」が成立し、昨年4月に施行された。舞鶴市が、この理念、並びに子どもの安全について実践できているか、そして、現在行おうとしている子育て支援については、如何に市民の求める成果を達成していけるか、また、国が実施しようとしている子育て支援についても、都市部などの格差がなく享受されるよう課題点を問いかけ、その対応を問う。



2 高齢者支援について

介護人材の不足は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題と言われ深刻な状況にある。介護人材を確保するには、働きやすい職場環境を実現することが必要であり、利用者からのカスタマーハラスメントも課題であると言われている。また、最も必要なのは処遇改善であり、その支援と取組について問い、高齢単身者に対する終活相談支援については、家族形態の変容する中で、その体制が出来ていないことから、需要に合った支援サービスを求めて見解を問う。

2 川口 孝文 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

1 市長の今後の市政運営について

日本維新の会を離党されたことを報道で知ることとなり驚いている。市長の決断に一定理解を表するものだが、報道機関によって離党の主たる理由が異なる印象であり、改めて市長に問う。また、政党を離れたことで、今後の市政運営や議会との向き合い方に変化はあるのかを問う。



2 図書館基本計画の進め方について

図書館基本計画の「課題解決型図書館への脱皮。分館を充実させ全市で図書館機能を向上させる。市全域サービスにつながる図書館への再編」には大いに賛同する。しかし、計画の進め方に疑問を抱いている。市長が掲げられる「市民と思いを共有し共にまちづくりを進めていく。」と隔たりがあるのではないかと。今後の計画の進め方などを問う。

3 GIGAスクール構想の進め方について

教育のデジタル化はメリットも多く推進には賛成してきた。しかし、IT先進国のスウェーデンで脱デジタル教科書が進んでいる。一方わが国では中央教育審議会のワーキンググループでデジタル教科書も正式教科書とすることが決定された。このような情勢の変化の中で、本市のデジタル教育の進め方などを問う。

3 田畑 篤子 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 市長の政治姿勢について

まず、市長の「日本維新の会」の選挙前の離党、選挙後の再入党、今回の再離党という行動からの政治信条と覚悟を問う。次に、二代表制としての今後の市政運営における方向性と令和7年度の当初予算と事業計画を通しての、「誰ひとり取り残さない市政」への政治姿勢を問う。



2 地域医療構想と市民病院について

本市としての、公的4病院の再編・統合についての今後の構想を問う。また、市民病院に企業版ふるさと応援寄附金での、遠隔診療機器の導入を計画されており、その妥当性を問う。関連して、地域医療としての医療と介護連携体制について問う。

3 公共施設の在り方について

マイコムとネーミングライツ事業について問う。マイコムの現状と今後の展開については、以前に、多額の除却予算と建設予算（案）が提示されたが、一向に進展していない。現在も、維持管理経費が掛かっていると予測するが、本市としての今後の活用方法と計画の予定を問う。また、ネーミングライツ事業の未来構想について問う。

4 小杉 悦子 議員（日本共産党議員団） [一問一答]

1 地域医療の確保に、市の公的責任を果たすことについて

市内公的4病院と舞鶴市などで、病院の再編統合についての議論が進められている。地域医療の確保は舞鶴市の公的責任が問われる重要な課題だけに、市長のめざす「地域完結型医療」の姿や市民の意見を聞くことや説明責任を果たすことを問う。



2 まちづくりの根幹に関わる平和、防衛問題について

政府が進める海上自衛隊舞鶴基地の増強計画は、敵基地反撃能力を可能とする長距離ミサイルのイージス艦への配備、弾薬庫の増設、総監部の地下化など、舞鶴が出撃基地に変貌させる計画だ。本市のまちづくりの根幹に関わる問題についての、市長の基本姿勢を問う。

5 仲井 玲子 議員（超党・市民ファースト議員団） [2分割]

1 市民が幸せになる観光戦略について

観光産業の目的は「市民の幸せ」であり、行政、事業者、市民が協働で作るもの、また、観光広報は、観光客の消費行動につながるものが重要であると考え、市の見解を問う。舞鶴だからこそ発信できる「平和」と「日本人が抑留生活の中でも文化的であった姿」を伝えるシンボルとしてラゲリ犬・クロが適当だと思うが市の見解を問う。



2 市長が思い描く舞鶴市のグランドデザインについて

人口減少・少子高齢化対策など課題山積の中、鴨田市長の思い描く舞鶴版地方創生への全体構想について問う。「未来に希望が持てる活力ある街・舞鶴」をまちの将来像に掲げ、「舞鶴市の未来は市民の声の中にある」と市民との対話を精力的にされている中、未来に希望を託す施策と市民と共に推進するまちづくりについて問う。

【一般質問】

1 今西 克己 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

- ・ 宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）の施行について
令和4年5月に宅地造成等規制法の改正により「宅地造成及び特定盛土等規制法」（盛土規制法）が制定され、令和5年5月26日に宅地造成及び特定盛土等規制法が施行された。この施行に伴い京都府では各市町村から意見を聴取のうえ規制区域の候補区域の指定が進められた。本年5月1日からの運用開始を控え、宅地造成等工事区域、特定盛土等規制区域の指定状況及び運用等を問う。



2 谷川 眞司 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

- 1 脱炭素社会の実現について
岡崎市はゼロカーボンシティを推進し、再生可能エネルギー導入やEV活用を進めている。国はGX2040ビジョンを掲げ、脱炭素技術の活用と経済成長を両立。舞鶴市も脱炭素先行地域選定や一般家庭の太陽光発電整備、新エネルギー計画の策定を検討し、今後のエネルギー政策の方向性を問う。
- 2 浪速橋について
浪速橋の歩道橋は損傷により2021年9月から通行止めとなり、仮の歩行者スペースが設置されている。通学路であり交通量も多く、安全対策が急務である。以前も市に対応を求めたが、早急な復旧が必要な状況であり、現在の進捗について問う。
- 3 東地区中心市街地エリアについて
東地区中心市街地は空き店舗が増加する一方、イベント時にはにぎわいが見られ、活性化が重要と感じる。創業促進や空き店舗対策に加え、民間投資の誘致も検討すべき。旧マイコム施設の活用含め、市は今後どのようにエリア活性化を進めるのかを問う。



3 伊田 悦子 議員（日本共産党議員団） [一問一答]

- 1 子どもを真ん中にした教育環境の在り方について
教育の主人公は子どもであり、教育環境は自治体が責任をもって整備するものである。食育である給食の充実、トイレの環境改善、競争教育の是正等、それらの認識、見解を問う。
また、現在議論が進められている学校規模の適正化はあくまでも市民合意で進めるべき。その見解を問う。
- 2 多様性を認め合い、自分らしく暮らせる取組について
パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度創設へ、一步を進められたことは評価する。今後市民への啓発強化が必要となるが、どのように取り組むのか。また、国へ、同性婚の法制化、選択制夫婦別姓の法制化を求める意見をあげるべき。その見解を問う。
- 3 中央図書館建設事業の充実について
中央図書館建設範囲の土壌汚染については市民にも議員にも丁寧な説明はない。発覚の経緯、また、その対策は万全なのかを問う。現在の東図書館存続の願いは根強くあるもとで、現在提案の2か所の分館が、市民の願いに応えるものになるのか。その点での市の認識を問う。また、今後も市民の声を聞く中で、市民に寄り添った分館方針を示すべきと考えるが、市の認識を問う。



4 廣瀬 昇 議員（超党・市民ファースト議員団） [一問一答]

1 舞鶴市の医療のあり方について

舞鶴市の医療体制見直しでは、市民・病院職員の意見交換を踏まえ、公的病院の再編統合案を5つに絞り、詳細を検討中。基本合意は連携強化が目的で、病院側も了承済。「求められる医療機能」とは各病院の役割分担を指し、再編統合の具体化はこれから考慮される。

開業医減少への対策として、第三者継承の可能性も問う。



2 公共交通について

『meemo』の利用状況や利用者からの意見、課題認識について問う。

令和7年度の取り組み内容とエリア拡大の予定も問う。

高齢化に伴う交通課題の認識と、高齢者向け移動手段の具体策、情報発信強化の予定について問う。

3 人口減少社会での舞鶴市の活性化について

舞鶴市の人口減少要因と現状認識、市民活動との連携強化、地域活性化策について問う。人口減少の要因分析と対策、市民の意見を市政に反映させる仕組み、市民・企業・行政一体となった課題解決と魅力向上の方策を問う。

5 松田 弘幸 議員（公明党議員団） [一問一答]

1 社会に開かれた教育実践奨励賞について

文部科学大臣優秀教職員表彰は、教職員が多く選ばれるが、学校として選ばれたのは全国で4校のみである。受賞された大浦小学校を市としてどのように評価されているのか。他の学校と大浦小学校との違いがどこにあるのかを問う。



2 本市の駐車場について

市役所前駐車場の整備が完了し、駐車スペースも増えたり、路線バスも乗り入れされており便利になったと感じているが、一方通行の逆走や駐車場の出入りの際に縁石ブロックに車両が当たる事案が多数あったことで、三角コーンを置いて防止に努めているが、抜本的な対策が必要ではないか。市の考えを問う。

3 「魅力あるまちづくり」について

近年漁獲が増加し、近畿随一の漁獲量を誇る「クロマグロ」を普及させるとは、どのように普及されるのか、そして、京都府のクロマグロとしてのネーミングの考えを尋ね、農水産物に特化したプレミアム商品券事業の実施の考えを問う。

6 眞下 弘明 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 義務教育でのネットリテラシー教育について

小中学生のネットを使つてのトラブルが急増し、心配をする多くの親御さんの声を聞く。

家庭と学校が連携をして子供たちを守るために、学校でのネットリテラシー教育は必要不可欠である。

本市の小中学校の現状を聞き、どのような学習を行っているのかについて問う。



2 西舞鶴駅西口所在の引揚列車見送りの松について

昭和21年12月ごろまで引揚げの舞台の中心は西舞鶴であったが、現存する西舞鶴に残る引揚に関連するものも少ない。残念ながら、引揚列車見送りの松の認知度も低い現状。

現在、有志の方の手で松は維持ができていますが、今後の維持管理や、引揚列車見送りの松を認知してもらう方法について舞鶴市に問う。

7 上野 修身 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

・ 学校給食費無償化（小・中学校）について

全国1,784自治体のうち、547自治体（約30%）で、小・中学校の学校給食を完全無償化している。舞鶴市では、昨年の2学期から中学校給食を、令和7年度の3学期からは、小学校も無償化する計画である。本市の学校給食の現状と無償化の目的（目標）等を問う。



8 小西 洋一 議員（日本共産党議員団） [3分割]

1 市民の暮らしを守る「本市の財政運営」について

物価高騰が止まらない。賃金と年金の目減りが続いており「家計のやりくりも限界、もう切り詰めるところがない」というのが現状ではないか。市内の事業所も同様で、人手不足と物価高騰が経営を圧迫している。こんな時こそ、「不要不急の大型開発より暮らし・福祉最優先」に本市の財政運営方針を切り替えるべきではないか、市の見解を問う。



2 だれでも安心の「本市社会保障の充実」について

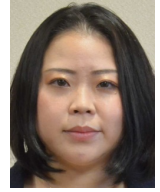
昨年4月、国が介護報酬を切り下げたことにより、全国で介護の事業所の休止や廃業が相次いでいる。市内で高齢者の介護事業を担っていただいている事業所も苦戦を強いられている。同時に、国民健康保険事業も京都府との共管により保険料が2年連続で値上がりとなっている。介護と国保事業の持続可能な運営のために、市は何ができるのかを問う。

3 本市公共施設とインフラ整備のあり方について

市内に300ある公共施設が老朽化し、その維持と管理が大きな課題に直面している。人口減少、少子高齢化の中で公共施設のあり方の見直しは当然。公共施設は市民の財産。市民合意で進めてこそ意義がある。また、市民生活に欠かすことのできないインフラである上下水道のあり方について市の見解を問う。

9 福本 明日香 議員（超党・市民ファースト議員団） [一問一答]

- 1 本市の市民サービスの向上とDX推進について
窓口支援システムの進捗と、本市のオンライン申請の利用実態、スマート窓口の設置を問う。
保育園の申し込みについて、新規オンライン申請の現状と、在園児のオンライン申請導入について、就労証明書の押印省略の周知について問う。
公共施設予約システム改修について、停止期間中の市民対応と、分かりやすい案内の必要性を問う。
マイナンバーカードの健康保険証利用の現状を問う。
- 2 学校教育における警報時や災害時の安全対策について
大雪警報時の休校判断基準が不透明なため、市の安全対策の認識を問う。防災ハザードマップを活用した通学路の安全対策について問う。
南海トラフ地震などの大規模災害発生時に備えた避難訓練や引き渡し方法の周知についてと、学校の災害対策の現状と今後の取組を問う。
- 3 災害時における避難所運営について
市内の避難所でペット同行避難が可能であるが、その周知方法についてと、京都府のペット同行避難リストに舞鶴市のデータがないため、府との連携についてと、各避難所との事前調整の必要性を問う。
- 4 子どもを育てる母親への支援について
産後ケア事業の現状と利用状況、産後ケアデイサービスの利用促進策についてと、産後指導士等の活用について問う。
乳幼児健診の未受診者について、虐待や発達遅れの発見の遅れや、不就学児につながる可能性があるため、実態把握と対応策を問う。
流産・死産を経験した母親への支援について、現状と、ホームページでの相談案内の掲載や、アウトリーチ型支援について問う。



10 杉島 久敏 議員（公明党議員団） [一括]

- 1 災害に備えた生活用水の確保について
長期化する避難生活においては、飲料水以外に入浴や洗濯、トイレの使用といった生活用水の確保が求められる。
市では、ライフラインを守るために、災害に備え、普段どのような取組をされ、仮に断水につながった場合、どのような考えで早期復旧を進められるのか問う。
- 2 個別避難計画について
避難行動要支援者の把握を含め、新年度の避難行動要支援者名簿の作成と要支援者に対する支援として個別避難計画の策定状況はどのようになっているのか。
避難行動要支援者名簿の事前提供については、関連する条例の定めにより、本人不同意でも名簿情報を提供できるようにされているのか問う。
- 3 小・中学校の空調整備について
臨時特例交付金の活用は、事業の加速化が条件と思われる。今後、実施される残りの中学校体育館空調整備は、どのような事業計画で取り組んでいかれるのか。
小学校体育館空調整備では、慎重な検討をお願いした空調設備の導入方式の比較検討や研究について、明確な調査結果による判断を望むものである。今後の取組について問う。



11 野瀬 貴則 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 中学校体育館へのエアコン設置について

中学校体育館にエアコンが設置される。当初の計画から変更もあったが子どもたちの教育、スポーツ環境が大きく改善されることに期待する。長年に渡り利用価値の高い施設となるよう熱源方式の選択理由や市民の利用料金、そして、後の小学校体育館への設置においては、災害時に効果が高いガス方式の検討について問う。



2 前立腺がん検診の再開について

男性のがん罹患率1位でありながら、過剰診療の危険性が取り沙汰され、本市では指定検診を取りやめていた。再開に至った経緯を伺う。また、技術の進歩により安全かつ高精度な検査方法も確立され、保険適用となっている。本市医療機関への導入見込みと合わせ、検診促進による早期発見と治療について、市の取組体制を問う。

3 市民の体力測定について

体力測定を定期的に行えば、自身の健康状態や体力の客観的な把握が可能となる。更にそのデータをもとに日常生活に運動を取り入れる意識を持つことで、健康的な状態を長く維持することができるかとされている。市民の健康向上に向け、体力測定の普及や実施方法、そして、いつでも測定できる施設について見解を問う。

12 水嶋 一明 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一括]

・ 第2次舞鶴市健康増進計画の取組について

第2次舞鶴市健康増進計画の策定にあたり、これまでの舞鶴市健康増進計画を推進されてきた取組をどのように評価、検討されたのか問う。

福祉健康委員会は、これからの健康寿命延伸に繋がる取組等について調査研究した成果を令和5年10月31日に政策提言した。そこで、第2次舞鶴市健康増進計画の策定にあたり提出した政策提言がどのように生かされているのか。

また、計画策定後1年足らずであるが、その進捗状況や成果課題。これまでの取り組みの経過等を踏まえ、今後どのように計画を推進していくのか問う。



13 高橋 秀策 議員（超党・市民ファースト議員団） [一括]

1 企業立地による地域への波及効果について

高野由里工場用地に、アイリスオーヤマ（株）将来的には投資額300億円の立地が決まった、また、（株）ブイテックス約10億円の投資が実施された。これだけの大規模な工場立地においては、地元雇用のほかにも、材料の調達など大規模工場の立地によって、企業立地による地域への波及効果をどのように捉えているのか問う。



2 ふるさと納税について

これまでの取組状況、また、令和6年度のふるさと納税の見込み額。令和7年度におけるふるさと応援基金の活用方針、基金の積み立て方針。返礼品開発のための支援について問う。

3 建設業について

働き方改革関連法の施行により、令和6年4月には建設業も時間外労働の上限が導入された。週休二日制実施に向けた取組状況について問う。市内で国が発注する公共工事の現状について問う。

14 小谷 繁雄 議員（公明党議員団） [一括]

1 市民窓口における自治体DXについて

市民窓口は紙主体の対面手続が多く、待ち時間や処理時間に課題がある。書類記入不要の「書かない窓口」を導入し、市民の負担軽減と窓口業務の効率化の取組みについて本市の見解を問う。また、自治体DXの推進には、デジタル技術を活用した業務改善と組織改革の取組について、本市の見解を問う。



2 地域防災支援の推進について

防災アプリの情報を市民に周知し、分かりやすさと機能の拡充を図ることが重要である。また、自然災害での犠牲者ゼロを目指し、「マイタイムライン」を活用した避難行動計画の作成を推進し、その作成方法や必要性の周知と普及促進に取り組むべきと考える。本市の見解を問う。

15 眞下 隆史 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

・ 舞鶴市の農地課題に関する今後の展望・方向性について

人口減少・少子高齢化で農地の維持管理が困難になっている。舞鶴市の地形上、中山間地が多いため大型農業化が難しく、個人が持つ農地が耕作放棄地になり、様々な悪影響が急激に増加している。国の制度改正も踏まえながら課題解決に向けた市の取組状況と、新たな取組へのチャレンジがあるのか、職員数が不足していないかを問う。



16 南 正弘 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

1 災害の対応について

舞鶴は、大規模災害が起こったときの重要な基地になるのは明白であるが、防衛省でも保安庁でも良いが、病院船を建造し、ここ舞鶴に配備していただき、災害発生時には即応していただきたいと思う。そのためには、当市で誘致をする必要があるかと思うが、市の考えを問う。



2 市民からのご意見・要望について

舞鶴市は観光というと赤れんがという答えがよく返ってくる。赤れんがパークには毎年多くの税金を投入されているようであるが、その効果はどのようになっているのか、また、蛇島の観光活用の実現可能性調査が行われていると聞くと、同じ舞鶴湾内にあり歴史遺産の残る戸島は調査対象にならないのかを問う。

17 山本 治兵衛 議員（新政クラブ議員団） [一問一答]

1 令和7年度の予算編成方針について

令和7年度の当初予算は、舞鶴史上、過去最高額と喧伝されている。増減比43億2,174万円の増額計上については、予算決算委員会において詳細に審査を行う必要がある。そこで、詳細な質疑を行う前に予算編成方針など、事前に確認しておかなければならない事項について、市の考えを問う。



2 共生社会の構築について

令和7年4月から舞鶴市でもパートナーシップ制度が始まろうとしている。市民の理解を深める啓発活動や制度の詳細な説明がなされていない状況においては、市の考えや制度について説明を求めなければならない。改めて制度化の意義や社会情勢の動向も含めて市の見解を問う。

3 職員の働き方改革について

市役所の職員に対して行った職員アンケートから、市民や舞鶴市議会の議員からカスタマーハラスメントがあったとされた。また、議員のハラスメントについては新聞によって報道され、市議会の権威と名誉は著しく低下した。しかしながら、事実関係は立証されておらず、また検証もなされていない。そこで事実関係を明らかにしながらカスタマーハラスメント対策について市の考えを問う。

18 尾関 善之 議員（自民党鶴政クラブ議員団） [一問一答]

• 舞鶴市地域公共交通利用促進について

路線バス1億円を超える補助額、また、今後の推移。利用促進におけるCO2排出量削減。公共交通の利用による家計への負担軽減。運転免許証の自主返納状況と高齢者外出支援事業の利用状況。若者の移動手段、学校等への通学支援。病院等の通院、妊婦等の通院、子供の定期検診等の支援。実証実験の取組等7項目問う。

